

ひとがまちをつくり まちがひとを創る



山岸正裕 勝山市長

勝山市で現在進めている「まちづくり交付金事業」では、まちなかに息づく自然・歴史・産業遺産を活かしつつ、中心市街地のにぎわい創出を目指した整備に取り組んでいます。

今年の新春座談会は、中心市街地に在住のみなさんをお招きして、山岸市長を囲んで、本事業の内容を中心に、まちなかの整備と活力再生について話していただきました。



東野 薫さん

(元町2丁目・勝山市繊維協会)

住民と行政がいっしょに考える まちをデザインする

市長 私は、まちなかの元気は、勝山市全体が元気になる大きな要素だと考えています。市民が風情のある場所として楽しむことができれば、当然、訪れた観光客も楽しめる。にぎわいが出てくると、そこに住む人々の交流が盛んになり潤いや活力が出てきます。



長谷川 啓子さん

(本町2丁目)

直しという無駄が出てくるので、やはり、区が主体となって市役所のかたといっしょに進めていきました。

市長 まちづくり交付金事業で取り組んでいるこの手法は、東京大学の篠原教授の指導のもとで行ってきました。その中で、住民からさまざまな意見が出ています。お互いが満足できるくらいまで高めるために時間をかけてじっくりとやっていきたい。



える憩える場所を提案したらどうかというところからスタートしました。それで、昔は生活の一環としてみんなが利用していた「大清水」をそのような場にできないかということになりました。そして、市役所のかたといっしょに考え、今のような広場になりました。

市長 この整備は、行政と住民とがいっしょになって取り組んだところに意義があると思います。最初から住んでいる人たちの気持ちが入っている。まちづくりの新しい方向性としては大変いい形を残せたと思っています。

原谷 結局、行政主導でお願いしてしまつと、でき上がってしまつてからいろいろの意見が出て、結局はまた作り



原谷 道郎さん

(本町1丁目)



昨年の夏に完成した大清水広場

まちなかへの集客の鍵は 繊維と観光との連携

市長 繊維について、旧木下機業場というのは、いわば「化石」。みたいなもので、歴史の流れが完全に凍結したような形で残っています。繊維の歴史は技術革新の歴史ですから、古い繊維などは基本的には、いらぬ。それよりももっと、新しく効率のよい機械にどんどん変えていくというものですから、昔のものがなかなか残らない。でも、あそこには、繊維業者が振り返っても今は無いものが残っています。

東野 当時の国の指導がそうだったんですよね。いわゆるスクラップ&ビルドで、より効率をもとめていたものから、人手のかかるものよりもオートメーション化されたものが求められてきた。良品安価なものの生産が指導されました。しかし、たまたま絹織物だけはその指導に適用されなかった。

市長 新年あけましておめでとうございます。

—おめでとうございます。

市長 この冬は、12月中旬からの思いもよらない大雪で、みなさんも屋根雪下ろしなどに大変ご苦労されたことと思います。

今日は、みなさんといっしょに、「中心市街地の整備とまちづくり」についてお話を進めていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

市では現在、中心市街地の活性化に向けた「まちづくり交付金事業」を進めています。昨年は、「大清水広場」が完成しました。この事業は、住民のご意見を十分に聞きながらいっしょに取り組む手法をとっています。

原谷 私も広場整備の委員会に入っています。基本的には、「観光客を」というのではなく、まずは、区民が集

そのための、絹織物を生産していた木下機業場などは、当時稼働していた織機が今でも形を残しているゆえんでしょうね。

市長 絹織物の場合、効率を望むと良質のものができないということがあって、古い織機が残っています。私は古い織機には勝山市がで上がつていったルーツや、産業発展の原点が存在すると思っています。勝山市が作られた歴史が詰まっている。これを市民やこれからの子孫に見られる形で整備していく必要があると思います。これを市繊維協会と意見交換しながらたとえば「繊維博物館」という形で整備したいと考えています。

市長 旧木下機業場が整備されると、観光バスも来るのでしょうか？

市長 そのようにしたいですね。

長谷川 バスで来た観光客が本町に訪れるようにするには、「口こみ」が大切だと思います。

ある人が「この料理はおいしい」と感じれば評判が広がります。特に女性はその点がキーポイントになると思います。

市長 そういう意味で、女性に好まれるまちというのは、必ず人がたくさん集まりますね。「美味しいものがある」というのは大きな集客力になると思います。

長谷川 本町にも美味しい食べ物屋さんがもっと何軒もほしいですね。